

子育ての悩みに寄り添う絵本
子育てと絵本 vol.33

こんな時こんな絵本 その5 「イヤイヤ期、どこまで聞き入れてあげたらいい?」

2歳から3歳にかけては自我の芽生えの時期といわれるように、要求がかなりはっきりしてきます。「イヤイヤ期が『自我の芽生え』って知ってるけど」、「いつまでも続かないのは分かっているけれど、大変なのは今!」、「大事な時期なのは十分理解しているんだけど」と保護者の皆さん。一般的に言われているイヤイヤ期、第一次反抗期は、自我の芽生え、自分探しの時期です。英語では「テリブル・ツー」(恐るべき2歳児)と言われ、世界中の子どもたちがこの道をたどります。標準的な発達に組み込まれた重要なステージのひとつです。とはいえ、親にとって大変な時期でもあります。「これまで叱ったことがないけど、ずっとイヤイヤなので、今は叱ってばかり」とおっしゃる保護者もいます。

絵本「おでかけのまえに」。「おかあさん、みて! わたし おべんとうをつめてあげたの」「まあ! おかあさんは びっくり!」。結果なんて、やってみないと分かりません。大事なものは、してみたい、してあげたいという気持ち。

「だめよ、デイビッド!」。ママは いつも いう…だめよ、デイビッド! って だめって いったるでしょ! ー。わんぱく真っ盛りの男の子。ただ好奇心が旺盛なだけ、やってみただけ。

これらの絵本は、親も子どもも共感でき、ほっこり優しい気持ちにもなれます。

本来は子ども自身が多くの遊びや経験の中でいろいろ学ぶことが一番ですが、現実にはなかなかそういきません。そのような時絵本を読んであげましょう。共感し疑似体験できる絵本がたくさんあります。実体験があればこそ、絵本で豊かに想像を膨らませ世界が広がります。

ほんのこの間まで泣くことでしか要求できなかった子が、2年ほどで「ジブンデ!」「イヤ!」と自己主張できるようになるなんて本当にすごいですよね。子どもの成長は早いです。その時期を、今を大切に、ゆったり楽しみたいものです。

今回ご紹介する絵本



おでかけのまえに
作 筒井 頼子
絵 林 明子
福音館書店



だめよ、デイビッド!
作・絵 デイヴィッド・シャノン
訳 小川 仁央
評論社

子育てひろっぱ「めぐみ」代表 弘田 恵子

1998年から20年間高知市内の「めぐみ保育園」で園長を務め、現在は妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。絵本講師(NPO法人「絵本で子育て」センター認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター

